

実務従事証明書（記載例）

第〇号

令和〇年〇月〇日

堺市 次郎 殿

薬局開設者又は医薬品の販売業者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）  
堺市堺区南瓦町 3 - 1

氏名（法人にあつては名称及び代表者の氏名）

株式会社 堺市  
代表取締役 堺市 太郎

問い合わせに対応できる  
よう付番してください。

以下のとおりであることを証明します。

氏名	堺市 次郎 (生年月日・〇〇〇〇年〇〇月〇〇日)
住所	堺市〇区〇〇町〇 - 〇
薬局又は店舗の名称 及び許可番号	〇〇ドラッグストア 許可番号：〇〇V〇〇〇〇〇
薬局若しくは店舗 の所在地又は配置 販売業の区域	△△市△△町△丁目△-△ (配置販売業の場合は、「大阪府一円」と記入してください。)

従事期間が連続しない場合は、  
分けて記載してください。

1. 実務期間（ 4 年 1 月間） 令和 元 年 4 月 ～ 令和 4 年 3 月  
令和 5 年 4 月 ～ 令和 6 年 4 月

2. 実務内容（期間内に薬剤師又は登録販売者の管理・指導の下で行われた実務に該当する□にレを記入）

- 主に一般用医薬品の販売等を補助する実務又はその内容を知ることができる実務
- 一般用医薬品の販売時の情報提供を補助する実務又はその内容を知ることができる実務
- 一般用医薬品に関する相談があった場合の対応を補助する実務又はその内容を知ることができる実務
- 一般用医薬品の販売制度の内容等の説明の方法を知ることができる実務
- 一般用医薬品の管理や貯蔵に関する実務
- 一般用医薬品の陳列や広告に関する実務

3. 実務時間（該当する□にレ点を記入）

- 上記1の期間において、上記2の実務に1か月に合計80時間以上従事した。
- 上記1の期間において、上記2の実務に1か月に合計160時間以上従事した。
- 上記1の期間において、上記2の実務に従事し、通算して合計（ ）時間従事した。

4. 研修の受講（外部研修（追加的な研修を含む。）の受講実績がある場合）  
年月日及び概要を記載）

令和 〇年 〇月 〇日 継続的研修 一般用医薬品及び登録販売者に関する研修（12時間）  
令和 〇年 〇月 〇日 追加的研修 店舗の管理及び法令遵守に関する研修（6時間）

1. で記載した期間中に受講した  
研修を記載してください。

（注意）

- 1 用紙の大きさは、A4とする。
- 2 字は、墨、インク等を用い、楷書ではっきり書くこと。
- 3 この証明に関する勤務状況報告書等を添付する。
- 4 配置販売業にあつては、薬局又は店舗の名称の記載を要しない。
- 5 薬局又は店舗の名称、許可番号、薬局若しくは店舗の所在地又は配置販売業の区域については、これらの事項が書かれた資料を添付しても差し支えない